

## 陶校同友会講演会を開催します！

平成30年10月4日  
京都府立陶工高等技術専門校

京都府立陶工高等技術専門校では、文化庁地域文化創生本部及び京都府立大学・京都和食文化研究センターなどから講師やパネリスト等を招き、11月7日(水)に「陶校同友会講演会」を開催します。

今回は、2021年までの文化庁の京都への全面的移転の意義を明らかにするとともに、京都に与える影響、生活文化と伝統産業との融合の可能性などについて討議いただきます。是非、多くの方に来場いただけるよう、周知についてよろしくお願ひします。

- 1 日 時 平成30年11月7日(水) 13:30~16:00
- 2 会 場 京都府立陶工高等技術専門校(東山区今熊野阿弥陀ヶ峰町17-2)
- 3 内 容

### <基調講演> 13:30~14:15

テーマ 「新・文化庁がめざすもの ~文化庁の京都移転の意義~」

講 師 松坂 浩史 氏 文化庁 地域文化創生本部 事務局長

### <パネルディスカッション> 14:30~16:00

テーマ 「生活文化と伝統産業との融合 ~新文化産業の創造~」

パネリスト

近藤 高弘 氏 陶芸家・美術家  
高橋 義弘 氏 株式会社瓢亭代表取締役社長  
「伝統産業×食文化」コラボ推進委員会副会長  
西阪 専慶 氏 専慶流十七世家元  
日本いけばな芸術協会特別参与  
京都いけばな協会相談役  
京都市観光協会理事

コーディネーター

宗田 好史 氏 京都府立大学副学長  
京都和食文化研究センター長

- 4 お申込み等 定員100名(先着)、事前予約制、参加無料  
申込期間 平成30年10月5日(金)~11月5日(月)  
氏名、住所、電話番号を陶校同友会事務局までFAX又はE-mailでお知らせください。
- 5 主 催 陶校同友会(当校修了生3,000名のうち2,000名で構成)
- 6 共 催 京都府(陶工高等技術専門校)
- 7 協 力 文化庁 地域文化創生本部  
五条坂・茶わん坂ネットワーク(2012年設立の陶器店・卸問屋・窯元の集まり)
- 8 お問い合わせ 陶校同友会事務局 <京都府立陶工高等技術専門校内>  
TEL 075-561-2943 FAX 075-561-3429(月~金(8:30~17:00))  
E-mail tokgs-k@pref.kyoto.lg.jp



(参考1) 基調講演者・パネリスト・コーディネーター（プロフィール）

まつざか ひろし  
**松坂 浩史氏**（文化庁 地域文化創生本部 事務局長）

1967年（昭和42年）生まれ。

早稲田大学を卒業後、外資系コンサルティング会社勤務を経て、1994年に文部省（現文部科学省）入省。

文化庁伝統文化課課長補佐、文部科学広報官、馳浩文部科学大臣秘書官、大臣官房参事官などを歴任。

2017年（平成29年）4月、文化庁の京都への移転に先立って京都東山区内に設置された地域文化創生本部の事務局長に就任。

現在、茂山七五三社中において大蔵流狂言の稽古中。



こんどう たかひろ  
**近藤 高弘氏**（陶芸家・美術家）

1958年（昭和33年）京都市東山清水に生まれる。

高校・大学と全日本卓球学生チャンピオン、国際大会日本代表。

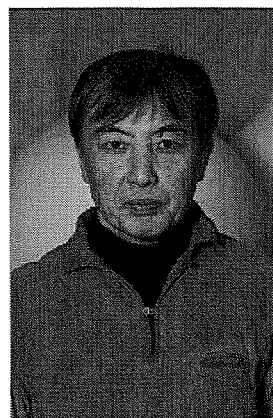
25歳の時、協和発酵工業（株）退社。

京都府立陶工訓練校修了後、父・近藤潤（祖父・近藤悠三、染付の人間国宝）の工房にて修行。

エディンバラ・カレッジ・オブ・アート・マスターコース修了。

文化庁派遣芸術家在外研修員。国内外での展覧会やアートフェアに出品。

主なパブリックコレクションとしてメトロポリタン美術館、ボストン美術館、スコットランド国立博物館などに多数収蔵。



たかはし よしひろ  
**高橋 義弘氏**（株式会社瓢亭 代表取締役社長、「伝統産業×食文化」コラボ推進委員会 副会長）

京都で生まれ育つ。

大学卒業後、金沢にて3年間修行を積む。

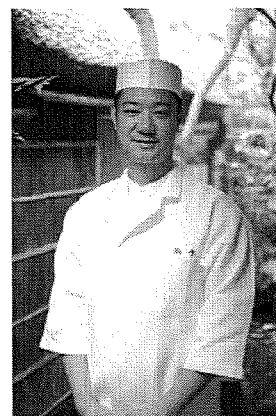
その後京都に戻り、父である瓢亭14代 高橋英一に師事する。

2015年（平成27年）瓢亭15代を継承。

懐石を基本とする伝統的な日本料理を受け継ぎ、確かな技術に裏打ちされた洗練を目指す。京都だけにとどまらず、茶会や料理教室・各種フォーラムへ出講するなど、日本各地で精力的に活動を行う。

また、海外でのプレゼンやコラボイベントに携わるとともに、NPO法人日本料理アカデミーを通して、海外シェフとの交流や小学校での食育活動など、多方面にわたり、日本料理の普及に努めている。

2018年（平成30年）瓢亭を東京日比谷に出店。



京都府「明日の名工」、農林水産省「料理マスターズ」ブロンズ賞を受賞。

～ 京 都 府 報 道 発 表 資 料 ～

京都府広報監 まゆまる



にししか せんけい  
西阪 専慶 氏

(専慶流十七世家元、日本いけばな芸術協会特別参与、京都いけばな協会 相談役

京都市観光協会 理事)

1935年(昭和10年)生まれ。

専慶流16世家元の長男として、幼少より父からいけばなを学ぶ。

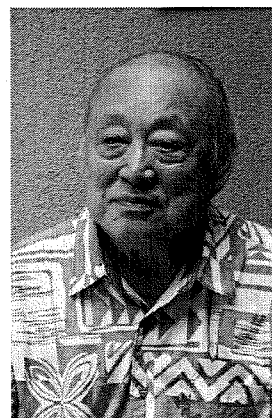
1958年(昭和23年)京都芸術大学彫刻科卒業後、各種展覧会に作品発表。

いけばな阿吽の会、いけばな同人西樹等、多数のグループ研究会の活動を通じて、いけばな界の新しい振興と発展に寄与する。

1977年(昭和52年)3月、十七世専慶流家元西阪専慶を襲名。

永きにわたり華道界の発展と人材の育成に努め、1999年(平成11年)京都芸術文化協会賞受賞。

1987年(昭和62年)より京都いけばな協会会長を努め、現在、公益財団法人日本いけばな芸術協会特別参与、京都いけばな協会相談役、公益社団法人京都市観光協会理事。

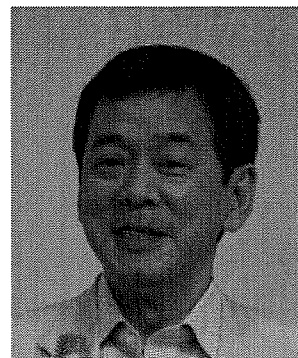


むねた よしふみ  
宗田 好史 氏

(京都府立大学副学長、京都和食文化研究センター長)

1956年(昭和31年)静岡県浜松市に生まれる。

法政大学工学部建築学科卒業。同大学院を経て、イタリアピサ大学・ローマ大学大学院にて都市・地域計画学専攻。歴史的都市保存計画、景観計画、都市商業政策を研究。歴史都市再生政策の研究で、工学博士(京都大学)。国際連合職員を経て、現職。京都府立大学和食文化研究センター長を兼務。国際記念物遺産会議(ICOMOS)日本委員会理事、東京文化財研究所客員研究員などを務める。



## (参考2) これまでの経過及び今後の予定

- 2016年(平成28年)3月、文化庁の京都への全面的移転が決定し、2017年(平成29年)4月京都市東山区に「地域文化創生本部」(本部長:文化庁長官)が設置された。2021年度までに、文化庁が京都に全面的に移転予定。(全体の70%、250名規模<除国会・外交対応、他省庁調整等>)
- また、2017年6月、文化芸術新興基本法が改正されて文化芸術基本法となり、「和食」(食文化)や「いけばな」等の生活文化などの複合領域(新領域)も振興対象となった。
- 平成25年に、ユネスコ無形文化遺産に「和食、日本人の伝統的な食文化」が登録され、平成26年に、京都府立大学に「和食文化研究センター」が開設され、平成31年4月に「和食文化学科」が設置されることとなっている。こうした中、平成30年5月、当校同窓会(陶校同友会)内に事務局を設置し、若手陶工18名(当校修了生が中心)と若手和食料理人10名(老舗料亭の精鋭)による「伝統産業×食文化」コラボ推進委員会が立ち上げられ、試作発表に向けて取組をしている。

